



平成30年 1月23日

お知らせ

資料提供先：島根県政記者

【朝山・大田道路 平成30年3月18日 開通】

山陰道パネル展を開催！！

～山陰道の進捗状況・整備効果をご覧ください～

平成30年3月18日に開通する、朝山・大田道路など山陰道の工事進捗状況や、整備効果について紹介するパネル展を開催いたします。どなたでも無料でご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

記

○展示場所・展示期間

平成30年1月24日（水）～平成30年3月30日（金）（月～金 8:30～17:15）

※ただし、一時的に展示のない期間が生じることがあります。

- ・大田市役所 ロビー（別紙1参照）
- ・仁万まちづくりセンター（別紙2参照）
- ・大田市役所 温泉津支所

○展示内容

朝山・大田道路など山陰道の進捗状況、整備効果など（別紙3参照）

※展示パネルは工事の進捗状況にあわせて随時入れ替えます

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

松江市西津田2丁目6-28

副所長	たかぐち としひろ 高口 敏弘	(内線204)
(工事担当) 建設専門官	こだま かつし 児玉 克史	(内線404)
(広報担当) 計画課長	たかざき おさむ 高崎 修	(内線261)

TEL : 0852-26-2131 FAX : 0852-25-9438

HP : <http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

大田市 建設部 事業推進課

大田市大田町大田口1111番地

課長	なかむら てつや 中村 哲也	(内線1314)
主任主事	ふじやま せいいち 藤山 誠一	(内線1315)

TEL : 0854-82-1600 FAX : 0854-82-9732

※松江国道事務所ではツイッター（Twitter）による情報発信を行っています。

 : [http://twitter.com/road\\_matsue](http://twitter.com/road_matsue)

QRコード

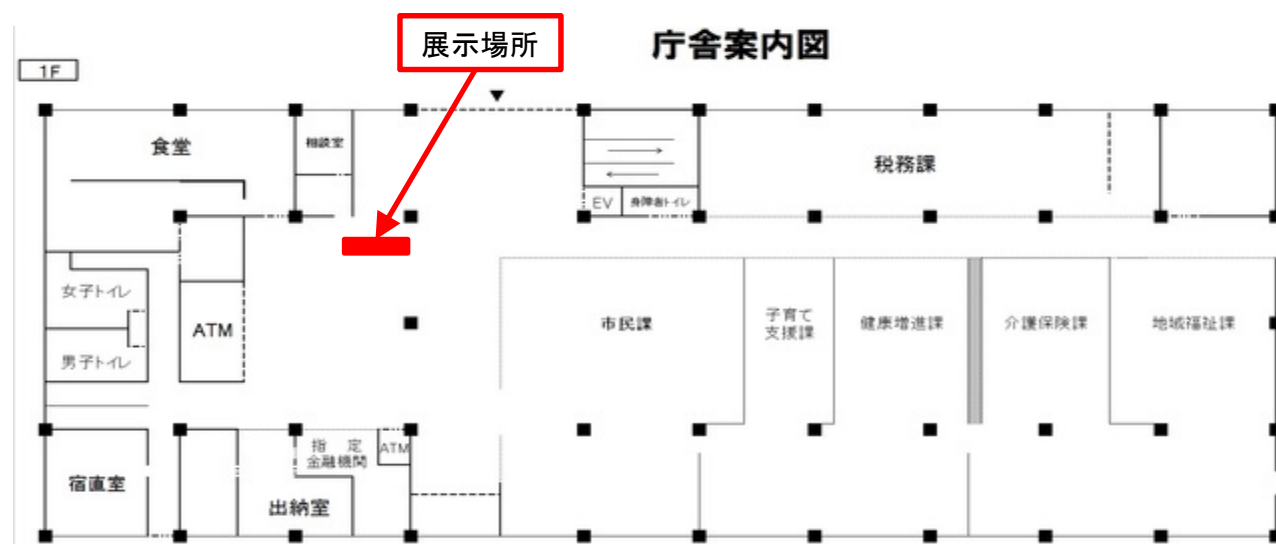


## パネル設置箇所

○大田市役所 本庁舎(大田市大田町大田口1111番地)



○庁舎内展示場所



出典: 大田市HP  
加工: 松江国道事務所

## パネル設置箇所

○仁万まちづくりセンター(大田市仁摩町仁万562番地3) 設置場所：ロビー



出典:国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」  
加工:松江国道事務所

○大田市役所 温泉津支所 (大田市温泉津町小浜イ486番地) 設置場所：市民生活課前  
至 松江



至 浜田

出典:国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」  
加工:松江国道事務所

展示パネル例

事業の概要（朝山・大田道路）

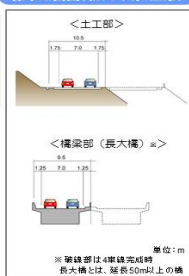


- 山陰道の一部である朝山・大田道路は、全長6.3kmの自動車専用道路であり、平成19年度より事業に着手しました。
- このたび、平成30年3月18日に大田朝山IC～大田中央・三瓶山IC間の延長6.3kmが開通となります。

計画概要図



標準断面図（朝山・大田道路）



事業概要

	朝山・大田道路	多伎・朝山道路
起終点 (上段：起点 下段：終点)	大田市朝山町朝倉 大田市久手町刺鹿	出雲市多伎町久村 大田市朝山
延長	6.3km	9.0km
車線数	暫定2車線	暫定2車線
開通	平成30年3月18日開通予定	平成30年度

今年度開通する  
山陰道 朝山・大田道路の  
概要・整備効果

① 主要都市間の移動時間の短縮



- 朝山・大田道路を含む鳥根県内の山陰道整備により主要都市間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流の活性化、人流・物流・産業の活性化、地域経済の活性化が期待されます。



所要時間短縮効果(予測)



大田朝山ICに導入されるラウンドアバウトの紹介

**山陰道大田朝山インターチェンジにラウンドアバウトを導入します**  
～重大事故の減少、逆走防止などに大きな効果～

◆場所

◆大田朝山インターチェンジラウンドアバウトイメージ

◆ラウンドアバウト（環状交差点）の通行方法

- ①時計回り(右回り)通行
- ②環道優先で通行
- ③出るときに合図(ウィンカー)

◆国土交通省 松江国道事務所 計画課(四合せ窓口) Tel: (0852) 26-2131 Fax: (0852) 25-9438  
 松江国道事務所 交通機動課 Tel: (0852) 26-0110  
 大田市建設部 事業推進課 Tel: (0854) 82-1900 Fax: (0854) 82-9732

◆環状交差点とは

- 環状交差点とは、車両通行部分が環状で道路標識により、車両は「時計回り(右回り)」に通行することが指定されている交差点です。
- 平成26年9月の道路交通法改正で適用可能となり、交通安全対策として各地で採用されています。

◆大田朝山インターチェンジでの導入効果

◆重大事故の減少

- 交差点内の衝突リスクが大幅に低下します

衝突機会：2.4箇所 → 衝突機会が1/4に ↓ 衝突機会：6箇所

- 速度が抑制され重大事故減少につながります

交差点内を直進するため、速度高い → 交差点内を直進しにくくなり、速度低下

◆逆走防止

- 構造上の工夫で逆走防止が可能

右折指示、逆走防止、逆走しにくい構造